

倉敷天文臺通信 (八月)

様々な秋蟲に蛙が加はり、にぎやかな合唱を楽しむ頃となれば、深夜の観測にも何となく緊張をおぼえる。八月は好天氣にめぐまれた。太陽黒點記録では22日が缺測だけ、月も澤山撮れた。今夜は久しぶりの堂々たる休養日をたのしんでゐる。

天文講習會には大阪や神戸の様子が聞けることは豫期してゐたが、鹿兒島の會員の動靜まで知ることが出来て愉快であつた。たゞ多くの會員諸君が眞に地味な観測を殆んど考へてくれないのは私としては不思議な程であつた。自ら観測し、更に國の内外の多くの先輩諸氏の努力のあとを伺ふことは私達に與へられた特權であらうと思ふ。

反射望遠鏡の焦點で月を撮影することはかねてから計畫されてゐたが、實現してみると、随分面白く且重大な意義を持つことを認める。今では試験領域を脱して日々成績をあげてゐる。變光星観測のためには月の存在は禁物であるが、月も相手にしてゐると、徹する夜が度々に在る。

月は與へられた機會をのがさず撮つてゐる。満月前後は2~3時間おきに撮る。このやうにして一ヶ月に Ilford Process 乾板を3~4ダース消費してしまふ。現像すみの乾板が整理されてうづ高くなることはうれしい。

どこまでも流行した音頭は倉敷にも例外なく、天文臺の満月が参加してゐるが、いつか岡山放送局から全國の諸君に傳へやうと藝妓連がいつてゐるとか——遠い私の耳にも入つた。

去年美しく咲いたコスモスの苗は雨のないため枯れかけた。観測を流してしまふやうな一雨ほしい。(1934年八月29日夜、荒木健兒)

編輯 だより 改卷新装して我が「天界」が讀者に見ゆる事正に十有五年、常に

「天界」は唯徒らに變裝を好むものでない。内容外觀共茲まで成すには幾多の讀者の聲に待つものが多い又經濟的に考へる事も勿論である。今後共に御聲援をお願いしたい

強烈なる颱風の齎したあの慘禍は正に驚異であつた、餘りにも大きな刺戟であつた！ 幾多の犠牲は我々に幾何の教訓を残した事か？ 卷頭第一頁に先づ我々の第一歩が示された。

新設された小山先生の「天文講座」は今後數回に涉つて連載されるもので秘かに本誌の誇りとする記事である。「讀者欄」も愈々本格的になつた、投稿を歓迎する。終りに常務編輯員の止むを後ぬ事情のため、發刊の後れた事を深くお詫びする。(T. T. 生)